

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和3年6月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内/TEL:0198-62-4413

令和3年度遠野市少年委員協議会総会を実施しました

令和3年4月28日(水)
あえりあ遠野交流ホールにおいて、
令和3年度遠野市少年委員協議会
総会を行い、22名の少年委員の方
にご出席いただきました。

総会では、副市長からの祝辞、遠
野警察署長からの励ましの言葉と
管内の青少年の非行状況等のお話
をいただいた後、令和2年度の事
業報告と収支決算、令和3年度の
事業計画と収支予算がそれぞれ承
認されました。



出席した少年委員の方から、街頭
補導活動を小学生の下校時間に変
更したことで活動周知につながっ
たとの意見や、少年委員の資質向上
と情報交換のために研修をしては
どうかとの意見がありました。
いただいたご意見を参考に、今年
度も、街頭補導やあいさつ運動を中
心に遠野の子ども達の健全育成の
ための活動を実施してまいります
ので、少年委員をはじめとする関係
機関・団体の皆さまのご協力をよろ
しくおねがいいたします。

令和3年度 街頭補導活動スタート



八幡付近にて



サッカー場前にて



緑峰高校前で迎えを待つ生徒に声かけ

5月14日(金)16:00から、松崎班の街頭補導活動を実施しました。
集合場所の総合福祉センターを出発し、八幡～緑峰高校前～早瀬川河川敷～サッカー
場付近を青パトで巡回しました。

この日は、小中高校それぞれの下校時間が同じくらいだったため、多くの子ども達に
声をかけ、少年委員の活動周知・相談窓口となる電話番号が書かれた個包装マスクを
配布することができました。

遠野駅駐輪場での無施錠自転車点検



5月20日(木)18:00から遠野1班の街頭補導活動を実施しました。

市民センターを出発し、徒歩で市役所本庁舎～とぴあ内ゲームコーナー～遠野駅構内～遠野駅駐輪場～蔵の道広場を巡回しました。

定期巡回している遠野駅駐輪場では、無施錠の自転車に、施錠を促すカードを取り付けて盗難防止を呼びかけています。

5月24日(月)15:00から遠野2班の街頭補導活動を実施しました。

この日は午前中に、週末雨天で順延となっていた小学校の運動会が実施されたため、午後からは蔵の道ひろばで元気に遊ぶ小学生の姿が見られました。

少年委員が、啓発グッズの個包装マスクを手渡ししながら「気を付けて帰ってね」と声をかけると、大きな声で「ありがとう」と返事をしてくれました。



蔵の道ひろばで遊ぶ子ども達

改正少年法 国会成立

来年4月1日施行

来年4月から成人年齢が18歳に引き下げられることにあわせて、新たに成人となる18歳と19歳を、引き続き保護の対象とする一方で、17歳以下とは異なる立場として「特定少年」と位置づけ特例規定を設ける少年法などの改正案は5月21日の参議院本会議で採決が行われ、自民・公明両党などの賛成多数で可決・成立しました。

ポイント①

「特定少年は刑事裁判にする対象拡大」

改正少年法では、事件を起こした特定少年について、すべて家庭裁判所に送致する仕組みを維持したまま、家庭裁判所から検察官に原則「逆送致」する事件の対象が、殺人や傷害致死など故意に人を死亡させた罪に加え、新たに強盗や強制性交、放火などに拡大・追加されています。

ポイント②

「起訴後の実名報道が可能に」

現在は、少年の実名や本人と推定できる情報の報道は禁止されていますが、来年4月から「特定少年」による事件が起訴された場合は実名や本人と推定できる情報の報道が可能になります。

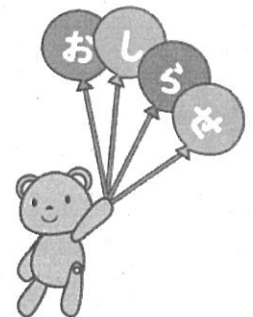
今回の法改正については被害者団体や立ち直り支援団体から様々な意見が表明されており、今後罪を犯した特定少年に対して社会復帰や立ち直りに向けた効果的な支援をどのように図っていくのか、速やかな検討が求められる一方で、改正法の付則には施行から5年後に社会情勢などの変化を踏まえて特定少年に関する制度のあり方を見直すことが盛り込まれています。

1. 令和3年度遠野市少年委員協議会役員会

日時:6月24日(木)18:30から
場所:市民センター3階第1会議室
※役員のみなさんの出席をお願いします。

2. 令和3年度青少年を非行・被害から守る県民大会

日時:7月14日(水)13:30から
場所:盛岡市いわて県民情報交流センター(アイーナ)
※詳細と申し込みについては別途お知らせします。



遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリんちゃん」

令和3年7月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内/TEL:0198-62-4413

7月

青少年の非行・被害防止全国強調月間です

内閣府が主唱している青少年の非行・被害防止全国強調月間では、今年度「ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止」が最重点課題となっております。

近年のSNSに起因した犯罪被害にあう児童の増加傾向に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響から在宅時間が長くなった子供が自宅でSNS等を利用する時間が増えたことから、犯罪やトラブルに巻き込まれる機会がさらに増加することが懸念されています。

このような現状に鑑み、本市においてもフィルタリングの更なる利用促進や、親子のルールづくり、コンテンツや利用時間を管理するペアレンタルコントロール機能の積極的な活用等について啓発を行います。



青少年の非行・被害防止対策リモートパネルディスカッション

テーマ インターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止
～ペアレンタルコントロールによるフィルタリング等の推進～

プログラム

▶主催機関 岩手県立内閣府青少年センター

▶協賛機関 岩手県立大学 岩手県立大学 遠野市立青少年センター

▶パネリスト 岩手県立大学 岩手県立大学 遠野市立青少年センター

▶コーディネーター 岩手県立大学 岩手県立大学 遠野市立青少年センター

▶会場 岩手県立大学 岩手県立大学 遠野市立青少年センター

▶申し込み 岩手県立大学 岩手県立大学 遠野市立青少年センター

▶お問い合わせ 岩手県立大学 岩手県立大学 遠野市立青少年センター

▶主催 内閣府 青少年センター 岩手県立大学 遠野市立青少年センター

▶協賛 岩手県立大学 岩手県立大学 遠野市立青少年センター



地域の子どもを育てる愛の一声運動実施について

岩手県においても「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に呼応し、7月から8月の2か月間を「青少年の非行・被害防止県民運動」期間として取り組みを実施します。

岩手県少年センター連絡協議会では、この期間に「地域の子どもを育てる愛の一声運動」を実施することから、委員の皆様さまにおかれましても、地域の子ども達へ「おはようございます」「おかえりなさい」「気を付けて帰ってね」など、あたたかい声かけと生活の中での「ながら見守り」をお願いします。

地域の大人が子ども達を見守ることは、不審者等に対する抑止力や安心・安全な地域づくりへもつながりますので、皆さまのご協力をお願いします。

令和3年度 青少年を非行被害から守る県民大会について

令和3年7月14日(水)に、いわて県民情報交流センターで開催される「令和3年度 青少年を非行・被害から守る県民大会」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を100人以内として開催することになり、各市町村からの出席は2名までとなりました。

このため、遠野市少年センターからは専任少年委員のみ出席します。

大会の様子を撮影したものが、後日、公益社団法人青少年育成県民会議のホームページ内で動画配信されますので、そちらをご覧くださいこともできます。

また、次号の「遠野市少年センターだより」でも報告させていただきます。

6月街頭補導より

6月8日(火)18:00から宮守班の街頭補導活動を実施しました。(写真右)

令和3年度の1回目であったため、出発前にコースや時間等の確認を行いました。この日は少年センター職員と専任も参加し、達曽部コースを巡回しました。子ども達の姿は見られませんが、保育園の先生方にあいさつし、この日の巡回を終えました。



宮守班少年委員の様子

6月14日(月)15:00から遠野2班の街頭補導活動を実施しました。(写真左)

この日は、お昼過ぎに雷を伴う大雨が降り、不安定な空模様でしたが、街頭補導の出発時間には小降りになり、徒歩による巡回を実施しました。中学校が中総体の振替休暇だったため、とぴあ内ではフリースペースで勉強する子や、ゲームコーナーで遊んでいる子など中学生の姿が多く見られました。気を付けて帰るよう声をかけ、啓発グッズのマスクを手渡しました。

とぴあ内ゲームコーナーの様子



今さら聞けない!? SNS用語



【フェイスブック】は、世界規模で利用されるソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)のひとつで、実名や生年月日などの個人情報登録して会員になれば、同じ趣味を持つ人などの交流したい会員とコミュニケーションをとることが可能です。

【インスタグラム】は、匿名でも利用できるSNSのひとつで、動画や写真の投稿を中心に利用されるサービスです。スマートフォンで撮った写真などに簡単に加工を施して気軽に共有することが出来ます。

【ツイッター】は、「ツイート」と呼ばれる140文字までの短テキストや動画、URLで自分の発言を投稿できるサービスで、ニックネームでの利用も可能です。

【フェイスブック/インスタグラム/ツイッター】とは

青少年の非行・被害防止強調月間の最重点課題にもなっているペアレンタルコントロール。意味は、パソコンやスマホ、ゲーム機などの情報機器で、親が子どもの利用環境を管理すること、またはその機能のことをいいます。

子どもが利用できるアプリの制限や、利用時間の制限、不適切な動画やサイトの閲覧制限などを保護者の端末で管理することが可能で、ゲーム依存や高額な課金、アプリを通じて知り合った人と会うなどのトラブルを回避するために提供されています。

知

てますか!? この「ことば」

【ペアレンタルコントロール】とは

掲示板(お知らせ)

「遠野市少年センターだより」送付の際の添書につきまして、経費節減の観点から、今月号より省略させていただきます。

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和3年8月発行

【遠野市少年センター】 遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

令和3年度 青少年を非行・被害から守る県民大会出席

7月14日(水) いわて県民情報交流センターで「令和3年度青少年を非行・被害から守る県民大会」が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者が100人以内として開催され、遠野市少年センターから専任少年委員が出席しました。

大会では、はじめに令和2年度わたしの主張岩手県大会の最優秀賞受賞者による意見発表と、第70回社会を明るくする運動作文コンテスト岩手県推進委員会委員長賞受賞者による作文発表がありました。

次に、岩手県小児科医会会長の三浦 義孝 氏による「コロナ禍に関わらず、抱っこは“心の基地”である」～子ども達を非行・被害から守るために～と題した講演が行われ、子どもの愛着形成と自己肯定感を育む「抱っこ」が将来の自立と人への信頼感の土台作りに必要なものであるといったお話がありました。

コロナ禍や少子高齢化・核家族化などで子育て環境が様変わりしても、「抱っこは心の基地である」という講演は、子を持つ親としても「子どもが小さいうちに、もっとたくさん抱っこしておけばよかったな」と思えるお話しでした。

最後に、青少年を非行・被害から守る県民大会決議を代表者が朗読、参加者は黙読し終了となりました。

大会の様子は、下記県民大会特設サイトで8月31日まで閲覧可能です。

<https://www.aiina.jp/site/seishounen/4001.html>

7月街頭補導より



遠野2班巡回の様子

7月8日(木)15:00から遠野2班の街頭補導活動を実施しました。午前中から降っていた雨もあがり、市民センター～市役所本庁舎～とびあ～蔵の道ひろばを徒歩で巡回しました。

午前授業で早く帰っていた小学生2名が、友達と歩いているところに会いました。

また、とびあ内のゲームコーナーでも、小学生5名が遊んでいました。啓発グッズを手渡し、早めの帰宅の声かけをしました。

7月9日(金)16:00から松崎班の街頭補導活動を実施しました。緑峰高校前には高校生数名がスマホを見ながらお迎えを待っていました。

また、福祉センター入り口付近では、小雨の降る中、部活を終えた中学生数名が、保護者のお迎えを待っていました。小学校は午前授業だったため、下校中の子には会いませんでしたが、サッカー場脇の公園で遊んでいる小学生数名に声をかけグッズを渡しました。



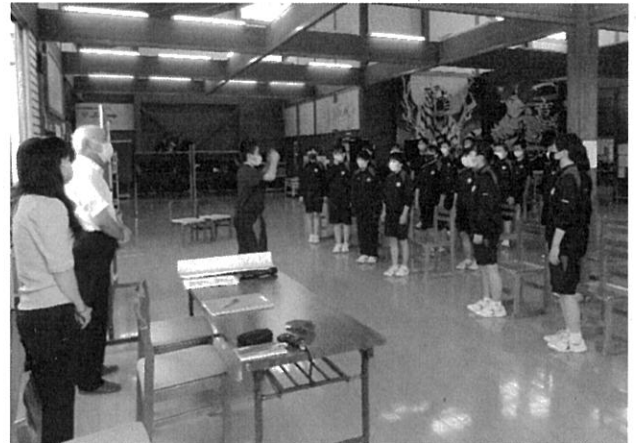
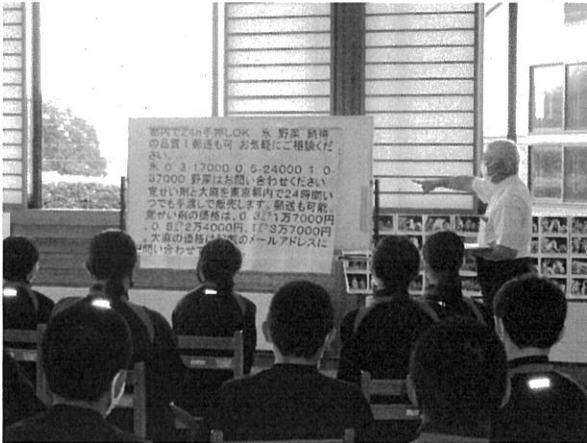
松崎班巡回の様子

～ 薬物乱用防止教室 & 少年委員遠野I班 DVD 研修 ～

7月8日(木)に遠野東中学校2年生を対象とした薬物乱用防止教室が開催されました。

講師は、岩手県警察本部スクールサポーターの菅洋生さんと、遠野警察署刑事生活安全課少年補導職員の佐々木知佳さんのお二人で、生徒の皆さんは真剣な様子で大麻や覚せい剤、その他の違法薬物に関する話や、実際に使用していた人の体験談などに聞き入っていました。

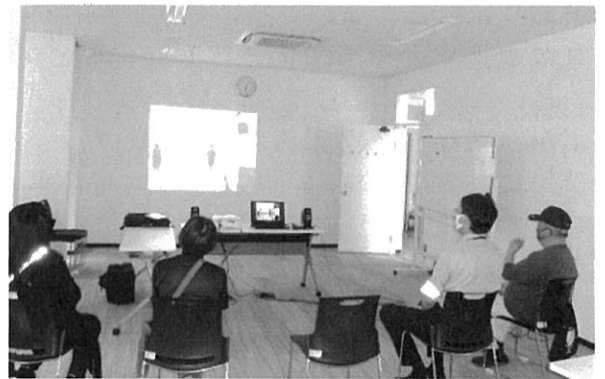
講話の終了後、感想発表とともに、生徒の皆さんからサプライズで歌のプレゼントがあり、雨上がりの夏空のもと、美しく響く澄んだ歌声にとっても癒されました。



7月13日(火)18:00～遠野I班でDVD「補導員の心得～声かけの基本とその実践～」による研修会を実施しました。

今年度も、コロナ禍で視察研修や夏まつり特別指導活動が中止になり、少年委員による意見交換や研修が難しいため、班でのDVD研修を実施しました。

補導員による少年への声かけの方法などが紹介されているDVDは日頃の活動の参考になりますので、今後他の班でも順番に実施できるように計画していきたいと思っております。



少年センターより

夏休みなどの長期休暇明けは、生活のリズムが崩れるなどの理由から、不登校になる子どもが増える傾向にあります。また、コロナ禍での生活にストレスを感じているのは大人も子どもも同じだといえます。我が子はもちろんですが、地域の子供達にも目を向けて、変わった様子がないか気にかけてみてください。「地域の人に見守られている」という安心感が、青少年の健全育成への第一歩につながるのではないのでしょうか。

「ながらスマホ」で踏切内に！？外にいると勘違い、はねられ死亡か？

7月8日午後7半頃、東京都板橋区内の踏切で、帰宅途中の31歳の女性が電車にはねられ死亡する事故がありました。女性は、遮断機が下りてくる前に踏切内に入り、出口にさしかかったところで警報音が鳴り、遮断機が下がるとその場に立ち止まりました。警視庁によると、女性はスマホに気を取られていて、自分が踏切の外にいると思い込んだ可能性があるということです。当時、踏切近くには数人がいたということですが、誰も女性に気づかず、声をかけなかったということです。

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和3年9月発行

【遠野市少年センター】 遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

「青少年の非行・被害防止県民運動」及び「地域の子どもを育てる愛の一声運動」にご協力いただきありがとうございました!!

7月1日から8月31日は「青少年の非行・被害防止県民運動」及び「地域の子どもを育てる愛の一声運動」の実施期間でした。

7月は猛暑、8月になってからは天候不順やコロナによる岩手緊急事態宣言の影響で、少年委員による街頭補導活動は、当初の計画通りにはできませんでした。そのような中においても、各地区防犯協会と合同で夏季防犯パトロールや朝のあいさつ運動などにご参加いただいた皆さん、どうもありがとうございました。

これから秋に向かい、どんどん日も短くなりますので、外にいる子ども達に早めの帰宅を促す声かけなど、引き続き見守り活動へのご協力をお願いいたします。

遠野市少年センター 7月～8月の街頭補導活動実施状況

	午前	午後	夜間	合計
実施日数(日)	7	8	14	29
従事人員(人)	9	14	39	62

令和3年度 第23回 わたしの主張遠野地区大会

8月30日(月) 遠野市民センター大ホールにて「令和3年度第23回わたしの主張遠野地区大会」が開催されました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、無聴衆での開催となりました。

本大会では市内中学校の代表者8名が、自分の経験から感じた命や言葉の重み、未来への希望、社会に向けての意見などを発表しました。弁士の皆さんの豊かな感性と表現力に、遠野市長をはじめ審査員の皆さんも引き込まれていました。

なお、大会の様子については、後日遠野テレビで放送される予定です。



※ 最優秀賞 ※

遠野西中学校3年 藤原 真結さん
「救える命は必ずあるから」

※ 優秀賞 ※

遠野東中学校3年 荒川 颯音さん
「生きる言葉、生かす言葉」

遠野中学校 3年 菊池 光紗さん
「優しさの輪をつなげていくために」

少年センターより

7月下旬から全国的に新型コロナウイルス感染症が爆発的に広がり、岩手県でも8月12日に「岩手緊急事態宣言」が発出されました。これに伴い、遠野市少年センターでは市対策本部と協議し、当面の間少年委員による街頭補導活動を休止することとし、皆さまへお知らせしております。活動の再開については、決まり次第改めて書面にて通知いたします。

少年委員の皆さまにおかれましては活動休止の期間中、日常生活の中でできる「ながら見守り」について、引き続き意識的に取り組んでいただきますようお願いいたします。地域の中でより多くの方が「ながら見守り」を意識することで、見守りの空白地帯が減り子ども達の安心・安全につながります。

地域の子どもは地域で守るということを念頭に、自分のペースに合わせた活動にご協力をお願いします。

「ながら見守り」って何するの!?



今年6月、千葉県八街市で下校中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込んで児童5人が死傷するという痛ましい事故がおきました。

これまでも、登下校中の子ども達が被害に遭う事件や事故は、数多くおきています。

こうした社会情勢の中、全国的に子どもの登下校時の安全対策について関心が高まってきており、その中でも「気楽に」「気長に」「危険なく」取り組める「ながら見守り」に期待が集まっています。

 「ながら見守り」とは…

「防犯の視点を持って日常生活を送ること」です。

ウォーキングや犬の散歩、花の水やり、仕事などをしながら、

※長時間子ども達をじっと見つめている人や、後をつける不審者がいないか見守る

※不審者を見かけたら通報する

※防犯の帽子やタスキ、ベストを着用する（社用車にパトロール中のマグネットを貼ることも立派な「ながら見守り」です）

※あいさつをする

この、「あいさつ」をすることで地域のコミュニティが形成され、不審者は「この地域の住民の目が自分に向けられている」と感じ、犯罪に対する抑止力になります。

多くの方は、「自分の地域に不審者はいない」と考えがちですが、岩手県警のぴかぼメールでは近隣市での不審者情報が頻繁に流れています。

また、地域の大人が子ども達にあいさつで声かけをすることで、子ども達は「自分たちは地域の人に見守られている」という意識が持てるとともに、「進んであいさつができる子」になるのではないのでしょうか？

「近頃の子どもはあいさつができない」という意見も耳にしますが、まずは大人が率先してあいさつをしてみましょう。

「ながら見守り」の第一歩は「あいさつ」から！！…意外と簡単だと思いませんか？

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和3年10月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

遠野市少年委員による街頭補導活動を再開しました！！

8月12日に発令された岩手緊急事態宣言に伴い休止しておりました、遠野市少年委員による街頭補導活動を9月13日以降順次再開しました。少年委員の皆さまにおかれましては、各班の年間活動計画をご確認いただき、新型コロナウイルス感染症対策に十分留意したうえでの活動をお願いいたします。

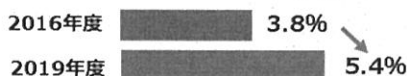
秋の深まりと共に日没が早くなっています。夏場と同じ時刻の活動でも、夕暮れ時は視認性が悪くなってきますので、懐中電灯を所持してください。また、この時期は日中との寒暖差も激しい時期ですので、夕方から夜間にかけての活動では、防寒対策をお願いします。

体調がすぐれない時は無理をせず、班長さんへ連絡をして活動を休んでください。

11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」です

ほっとできる「居場所」がどこにもない—
そんな子供・若者が増えています。
未来を担う子供・若者たちのために、何ができるか
考え、行動に移してみませんか？

「どこにも居場所がない」とする子供・若者の割合



内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

内閣府では11月を「子供・若者育成支援強調月間」と定め、関係省庁、地方公共団体、関係団体等とともに子供・若者育成支援に関する国民運動の充実と定着を図るための期間としています。県でもこの運動に呼応し11月及び12月を「岩手県子ども・若者育成支援強調月間」と定め、啓発等の諸活動を集中的に実施することにより、県民の子ども・若者育成支援に対する理解を深め、各種活動への積極的な参加を促し、強調月間の一層の充実と定着を図ることとしています。

遠野市少年センターでは、この期間に街頭補導活動で、スマホ・ネットに潜む危険や使い方のルール等を添付したマスクとポケットティッシュを配布し、啓発活動に努めたいと思いますので、少年委員の皆さまのご協力をお願いします。啓発用のグッズが不足した場合は、少年センターまでご連絡ください。

不審者発生情報

9月15日(水)16時ころ、市内の早瀬町児童公園(遠野町12区付近)で、下校途中の女子児童に対する声かけ事案が発生しました。

主な内容:35~45歳くらいの男性から「写真を撮らせて」と声をかけられ、「無理です」と断った。しばらくしてその男性はあきらめて去っていった。

遠野市少年センターでは、この不審者情報を受けて、9月21日(火)と9月30日(木)の午後に市内の公園を中心に巡回活動を実施しましたが、特に変わったことはありませんでした。今後も、不審者情報などが発生した場合には、できる限り下校時間を中心に巡回活動を実施する予定です。

子どもに「知らない人について行ってはダメ」と伝えているご家庭は多いと思いますが、不審者からの声かけは巧妙な場合もあります。親しげに近づき、話しかけられれば「知ってる人(かも)」と思ってしまう可能性もあります。また、公園などでよく顔をあわせ言葉をかわしたことがあれば、子どもにとって「知っている人」と認識していることもあります。警戒すべき「知らない人」がどんな人物なのか、各家庭で話しておきましょう。

★★★「知らない人」はこんな人 ★★★



- ・見たことがない人、はじめてみる人
- ・名前を知らない人
- ・住んでいるところを知らない人
- ・どんな人なのかよく知らない人
- ・お父さん、お母さんの知り合いではない人



顔を知っていて、話したり、あいさつしたりしたことがあっても「知らない人」です。どんなに巧妙な言葉で誘われても、ついて行ったり、相手の言う事に従ったりしないよう、あらかじめ子どもに言い聞かせましょう。

また、残念なことですが、「知ってる人」による犯罪も起こることがあります。「誰かについていくときは、たとえ知っているでも、必ず親に確認をして許可を得る」といったルールを決めておく方が安全でしょう。

実際に公園などで起きた事件では、女の子だけでなく男の子が被害にあった場合や、低学年の子や未就学の幼い子を狙う事件も少なくありません。

相手が強引な時は、大きな声でハッキリと「イヤです!」と断ることが大切です。判断に迷ったり、少しでも不安を感じたりしたときは、「相手に悪いなどと考えず、その場から走って逃げなさい」と教えてあげてください。

日が傾き始めてから公園に長居するのは危険です。子ども自身が一緒に遊んでいる子に「もう暗くなるから帰ろう」と伝えて、自分の意志で遊びを切り上げられるようになるのが理想です。そのためには叱るばかりでなく、「あなたを心配している」という大人からのメッセージを伝えることが大事だと思います。

少年センターより



街頭補導活動の際、ここ数ヶ月間でスケートボードやリップスティック(※1)で遊んでいる子ども達を目にする機会が増えました。これは東京2020オリンピックの影響だと考えられます。

本来「自動車が頻繁に行き来する場所」での利用は禁止となっていますが、舗装された場所の方が練習しやすいため、道路で利用している子が多いようです。室内でゲームばかりするより健康的な印象はありますが、ヘルメットやプロテクターなどを正しくつけて遊んでいる子は少ないように感じます。歩道や路側帯で遊んでいても、ちょっとした傾斜で車道へはみ出してしまい、見ていてドキッとする場面もあるようです。

楽しく遊んでいる子ども達に水を差すのは憚られますが、笑顔で優しく「こんにちは。車に気を付けて遊ぼうね。」と声をかけ、注意を促していただきますようお願いいたします。

(※1) 前後に分かれた板に1個ずつローラーがついており、真ん中がパイプでつながられたデザインになっている。それぞれが左右に稼働することで、地面を蹴らなくても推進力を得ることができるボード。

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和3年11月発行

【遠野市少年センター】 遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

11月は「子供・若者育成支援強調月間」です

11月の子供・若者育成支援強調月間に合わせて、遠野市少年センターでは街頭補導活動でネットに潜む危険と使い方のルールに関する啓発メッセージを添付した、マスクとポケットティッシュを子ども達へ手渡しています。

「こんにちは」「気をつけて帰ってね」と声をかけると「はい、ありがとうございます」と大きな声で答えてくれる子ども達の様子に、こちらも元気をもらっています。

また、活動再開後久しぶりに遠野駅駐輪場を巡回し、無施錠自転車の点検を実施しました。

これからの季節、朝のあいさつ運動や夜間の街頭補導活動は、寒さがつらくなる時期ですが、元気な子ども達に負けず、感染症対策はもちろん防寒対策もしっかりして、厳しい冬を乗り切りましょう！！



松崎班

北小前で下校する子ども達へ声かけ



遠野1班

遠野駅駐輪場で無施錠自転車点検

10月街頭補導より



朝、濃霧で視界が悪い日から始めた朝の見守りを毎週月曜に続けました。月曜は持ち物も多く、重そうに持っている子、重くてずり落ちそうになりながら歩いてくる子に「おはよう!」と声をかけると、「オハヨウゴザイマス」と低い声で答えてくれる子、元気な声で「おはようございます!」と言ってくれる子と、朝の児童の姿に元気をもらいました。(土淵班)

・達曽部班は児童館に集合し、徒歩で通学路で声かけをした。また、スクールバス利用者の状況等について運転手から話を聞きました。天候が悪い日は迎えの父兄があるということでした。

・宮守班はMMIに集合し、総合運動公園～下郷地区駅前を巡回しました。児童生徒はほとんど見受けられませんでした。また、駐輪場の自転車の管理は良好でした。

・罇沢班は通学路や駅周辺コンビニ等を巡回しました。駅で高校生へ声かけをしました。

(宮守班)

コロナの影響で街頭補導活動が3ヶ月ぶりで再開した。今日は、遠中の振替休日なので、会う子どものほとんどが中学生である。市役所本庁舎では5名の生徒が勉強していた。とぴあでは、スマホやゲームコーナーで遊ぶ中学生19名に会う。また、蔵の道ひろばではバスケットボールの練習をする中学生にも会い、声をかけた。(遠野班2班)



青少年育成セミナーに参加しました

日 時：令和3年度10月27日（水）14：00～15：30

場 所：アイーナ5階

内 容：「子どもの心の成長を支える ―がまんする力、めげない強さ―」

講師 東洋大学 名誉教授 中原 美恵 氏

- ・子どもが「主体的に成長に向かう力」を支えるという視点で見守る。
- ・「成長に向かう心の仕組み」は筋肉と同じで鍛えることができる。困難にぶつかった時は、やり方を変えてみよう。今はまだできないだけで、これからできるようになる。学びに対しての前向きな姿勢。
- ・がまんする＝脳を鍛えること。自己抑制機能を育てる声かけ。叱責や命令でなく、提案と促し。子どもの意見や主張、選択を引き出す。
- ・子どもの心の成長を支えるために、困難に遭遇しても、動じず、追い詰められず、あきらめず、「困難を成長の糧にできる大人」による子どもの支援が必要である。

その他にも、怒りの感情をコントロールする方法や相談者からの話を聞くポイント、子どもを勇気づけるメッセージ例など、相談業務に大切なことはもちろん、日々の子育てや子ども達との関わりにおいても重要なことが多く、非常に参考になりました。



知ってる？守ってる？自転車利用の交通ルール

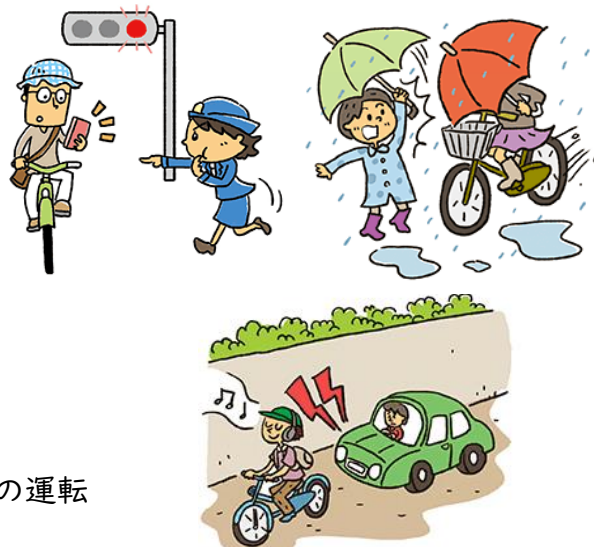
警察庁の統計によると、令和2年度中の自転車が第1当事者または第2当事者となった交通事故（自転車関連事故）は67,673件で前年より12,800件減少しました。自転車関連事故の件数は減少傾向にありますが、全交通事故に占める割合は、約20%前後で横ばい傾向が続いており、令和2年は構成比が前年と比べて増加しました。

守ろう！自転車安全利用五則

- その1 「自転車は車道が原則、歩道は例外」
- その2 「車道は左側を通行」
- その3 「歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行」
- その4 「安全ルールを守る」
- その5 「子どもはヘルメットを着用」

こんな運転もやめましょう！

- ・スマートフォン、携帯電話を使いながらの運転
- ・傘さし運転
- ・イヤホンやヘッドホンで音楽などを聴きながらの運転



交通死亡事故が起こりやすい時間帯は17時～19時が突出しており、特に日没前後の薄暮時間帯が昼間の約4倍と最も多くなっています。

また、薄暮時間帯の死亡事故は例年7月以降に増加し、10月から12月の秋から初冬にかけてが最も多くなっています。秋の夕暮れ時の自転車は周りから見えにくいこともあり、特に注意が必要です。

街頭補導活動中に、子ども達による自転車の危険な運転を見かけた場合は、安全に十分配慮したうえで自転車を停止させ、注意をしましょう。

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和3年12月発行

【遠野市少年センター】 遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

冬休み中の注意点について

12月24日までに市内すべての小中高等学校で2学期の終業式が行われます。

冬休みは、クリスマスやお正月など子ども達にとって楽しみなイベントが続くため、羽目を外しやすく、また、長期休暇による気のゆるみから、生活リズムが不規則になりがちです。

クリスマスプレゼントやお年玉で、新しいゲーム機やスマホを使い始める場合は、最初に使い方のルールをきちんと決めておくことが大切です。ゲーム機は、高度なインターネット端末であることを認識し、犯罪に巻き込まれたり個人情報流出したりすることのないよう年齢に合わせた利用制限などペアレンタルコントロール※1を設定しましょう。

冬休み期間中に、子ども達が思わぬ事故や事件に巻き込まれないよう、地域での見守り活動も引き続きお願いいたします。

冬期間の街頭補導活動の際、路面が凍結している場所等ありますので、転倒やスリップ事故には、十分ご注意ください。また、検温と常時マスクの着用及び防寒対策をしたうえでの活動にご協力ください。天候不良などでやむを得ず街頭補導を中止する場合は、班長さんが少年センターへご連絡くださるようお願いいたします。

※1 ペアレンタルコントロールとは、スマホやゲーム機、タブレットなど子どもが使う情報機器の利用環境を親が管理すること、またはその機能のこと。

11月街頭補導活動より



校舎から子ども達が出てくる気配がなかったため、児童館の方へ。低学年の子たちが外で遊んでいた。集合してもらい、マスクとポケットティッシュを差し上げた。再び校門方面へ戻り、出てきた高学年にも声かけをしながらグッズを配布。元気なあいさつが心地よい。次回はさらに日没が早まり、雪の世界かもしれないが、寒さに負けない子ども達の歓声を期待したい。(綾織班)

11月から3月までの冬期間、午後6時から実施していた街頭補導活動は、朝のあいさつ運動に変更。夏場と違い、寒くなったため登校時間も遅くなり、8時のチャイムが鳴った後もバラバラと登校してくる児童がいた。子ども達は元気にあいさつをしてくれる子がほとんど。今回はPTAの参加も多かった。

16時からの街頭補導活動は通常通り青パトで巡回。12区公園付近で下校中の中学生にマスクを配布。(松崎班)

松崎班 北小駐車場前



遠野市少年センター11月の街頭補導活動実施状況

	午前	午後	夜間	合計
実施日数(日)	6	6	4	16
従事人員(人)	9	16	16	41

11月の子ども・若者育成支援強調月間の期間中に、街頭補導活動で声かけをしながらグッズを手渡した人数は、小学生181人、中学生27人、高校生17人でした。寒い中、参加して下さった少年委員の皆さん、どうもありがとうございました！！

「子どもを守る防犯ボランティア研修会」及び 「情報メディア対応能力養成講座」に参加しました

① 「子どもを守る防犯ボランティア研修会」

日時：令和3年度11月25日(木)14:00~15:30

場所：遠野警察署(オンライン研修)

講師：神町パトロール協議会(山形県東根市)会長 浦瀧 昇一 氏

- ・児童生徒の登下校時の見守りを中心に平成17年から活動している。令和3年の会員数222名。平成30年にはその活動の功績により「安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」を受賞。
- ・徒歩でのパトロール中にたばこの吸い殻などごみ拾いも行う。また、子どもの姿が見えにくくなる垣根などの点検も実施。
- ・年5~6回、会員同士の意見交換の場である幹事会を開催し、活動内容について活発に話し合う。
- ・議会だよりやラジオCMを活用した広報活動により、活動内容が定着してきた。

② 「令和3年度情報メディア対応能力養成講座」

日時：令和3年度11月30日(火)13:30~15:30

場所：盛岡地区合同庁舎

講演：「青少年のネット利用の現状とトラブル・危険性」「家庭で取り組める対策」

講師：青少年活動交流センター 専門職員 能登谷 拓 氏

- ・ネットトラブルの主なものとして、依存、いじめ・けんか、課金、健康被害、出会い系・犯罪被害、炎上トラブル、違法薬物売買などがある。
- ・家庭でのルールは親だけで一方的に決めず、家族間で話し合っ決めて決める。約束を破った時のルールまで決めておく。守ってほしい・守りやすいルール。口約束でなく、紙に書いて見えるところに貼る。例外を作らない。
- ・子どものネット利用に関するトラブル回避には「特効薬」は存在しない。困ったことがあった時に、親や先生、相談窓口などへ連絡し、一人で解決しようとしなくていいことが大切。

社会の中でも家庭でも、困った時に相談できる関係性を作るためには、日頃からのコミュニケーションが大切だと感じました。これらの研修を、今後の活動や子ども達との関わりに活かしていきたいと思っております。

Let's take a break

冬こそ注意しよう!! その不調、かくれ脱水かも!?



「原因はよくわからないけれど、なんとなく頭が痛い」「体に力が入りにくい」こうした冬場の体調不良は、実は「かくれ脱水」によるものかもしれません。体のほぼ半分を占める「水」。成人の場合は体重の約60%を「水分」=「体液」が占めています。

暑さで汗をかくことはなくなり、喉の渇きは感じにくくなりますが、冬場は空気が乾燥し、気密性の高い下着や衣類の着用による発汗が原因で知らず知らずのうちに脱水症状になる可能性があります。一日1.5リットル程度を目安に、時間を決めて意識的に水分をとる習慣をつけましょう。特に、朝起きた時にコップ1杯の水を飲むことをおすすめします。

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和4年1月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内/TEL:0198-62-4413

新年のごあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中はコロナ禍で8月中旬から約1ヶ月間街頭補導活動の中止期間はありましたが、遠野市少年委員の皆さまをはじめとする関係機関・団体のご理解とご協力により、活動を継続することができました。厚く御礼申し上げます。

今年4月からは、民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられます。これにより、若者の積極的な社会参加を促し、主体的な役割を果たしてもらうことは社会に大きな活力をもたらすとの見方がある反面、若者がひとりで取引を行うこと等による消費者被害にあう危険性の増大が懸念されるなどの意見もあります。

新たに成年となる若者やこれからの将来を担う子どもたちを、家庭はもちろん地域や社会の中で関わる大人全体が見守り、支援していくことが大切であると考え、少年委員の皆さんをはじめ関係機関・団体がより一層連携し、青少年健全育成及び非行防止活動に取り組んでまいりたいと思います。

結びに、皆様方のご多幸とご健康を祈念いたしますとともに、更なるご支援とご協力を賜りますようお願いいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

遠野市少年センター職員一同



12月街頭補導活動より

20日(月)青笹小学校期末保護者面談の1日目、子ども達の下校に合わせて12:15頃からの活動。子どもたちは元気に昇降口から一斉に走ってきた。グッズを渡しながらか、楽しい冬休みを迎えるように、家の手伝いをする事、事故のない安全な生活をするよう会話をしながら声かけをした。青笹小の子ども達は元気が良く、「こんにちは」とあいさつを返してくれた。元気な子どもたちに会えてとても気持ちよかった。(青笹班)

17日(金)15:20~ 本日も学校玄関前に待機するも児童が出てくる気配がない。昨日も町内防犯関係の方と青パト出発式後に立ち寄りしましたが、児童は出てこず。両日とも午前授業で児童館の方から元気な声が…。そちらへ移動し、少し離れた位置から遊びの様子を見た。委員の方との話の中で、来春入学の子も少なくなり、全校児童が50人に満たないらしい。季節相応寂しい気持ちになりました。(綾織班)

14日(火)宮守班は15:00MMIに集合し、総合運動公園下郷地区駅前を通り巡回した。児童生徒は見受けられませんでした。

達曾部班は、16:00から小学校校門前から通学路を巡回し、徒歩で通学の児童に声かけをした。この時間帯に集団下校が見受けられた。

鱒沢班は15:00から通学路や駅周辺コンビニ等を巡回しましたが、児童生徒は見受けられませんでした。寒さが厳しくなってきたので早めに下校するようでした。(宮守班)

16日(木)13:20~土淵小学校ボランティアでこれまでに、花植え、さつまいもほり、草とりなどの手伝いをした事で「おくない様」と呼ばれて感謝の会に1、2年生が招待してくれた。顔見知りとなった低学年の子ども達から先にあいさつをしてくれてうれしかったです。週1回の朝の見守り活動も、学校が冬休みなのでしばらくはお休みです。(土淵班)



令和3年度 地域で子どもを育てる活動発表会に参加しました

令和4年1月15日(土)遠野市民センター大ホールで開催された「令和3年度 地域で子どもを育てる活動発表会」に参加しました。

今回で19回目となる同会は、日頃より子どもたちの健やかな成長のために取り組んでいる、学校・家庭・地域の関係者が一堂に会して、教育活動や実践活動の発表を行い、情報交換をすることで、地域にねざした活動や今後の活動への改善・充実をはかるものです。

今年は、4月から導入されるコミュニティスクールについての情報提供や、パネルディスカッションを中心とした内容で、地域みんなで子どもたちの生きる力を育むために、それぞれの立場でできること、今後の課題などが参加者で共有されました。

少子高齢化が社会問題となつてますます深刻さが増す中、子どもたちが地域の宝であることは多くの方が認識しています。子を持つ親としても、地域の大人としても、改めて自分ができることは何かを考える機会となりました。

少年委員の皆さんも、地域の子どものために、これまで通り街頭補導活動やあいさつ運動、ながら見守りなど「無理なくできること」を継続していただきますようよろしくお願いいたします。



18歳から“大人”に。成年年齢引き下げて
変わる事、変わらない事。



明治時代から今日まで約140年間、日本での成年年齢は20歳と民法で定められていました。この民法が改正され、2022年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に変わります。

これによって、2022年4月1日に18歳と19歳の方は成人となります。近年、公職選挙法の選挙権年齢や憲法改正国民投票の投票権年齢を18歳と定めるなど、18歳、19歳の若者にも国政の重要な判断に参加してもらうための政策が進められてきました。

こうした中で民法でも18歳以上を大人として扱うのが適当ではないかという議論がなされ、成年年齢が18歳に引き下げられることになりました。

また、世界的にも成年年齢を18歳とする国が主流となっています。

18歳になったらできること

- ◆親の同意がなくても契約できる
 - ・携帯電話の契約
 - ・ローンを組む
 - ・クレジットカードを作る
 - ・1人暮らしの部屋を借りる
 - ◆10年有効のパスポートを取得する
 - ◆公認会計士、司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取る
 - ◆女性の結婚可能年齢が16歳から18歳に引き上げられ、男女とも18歳に
 - ◆性同一性障害の人が性別の取り扱いの変更審判を受けられる
- ※普通自動車の運転免許取得は従来同様18歳以上で取得可能

20歳にならないとできないこと (これまでと変わらないこと)

- ◆飲酒をする
- ◆喫煙をする
- ◆競馬、競輪、オートレース、競艇の投票権(馬券など)を買う
- ◆養子を迎える
- ◆大型・中型自動車運転免許の取得



お酒・たばこは20歳になってから!!

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和4年2月発行

【遠野市少年センター】 遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

令和4年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」について

「春のあんしんネット・新学期一斉行動」は、青少年がインターネットの利用に起因する犯罪やトラブルに巻き込まれることを防止し、スマートフォンやSNSを安全・安心に利用できるよう、青少年が初めて自分のスマートフォン等を手にする時期でもある春の卒業・進学・新入学の時期に特に重点を置き、インターネット接続器やサービスを提供する関係事業者と保護者、学校等の関係者が連携、協力し、ペアレンタルコントロールの普及促進（フィルタリング、時間管理機能、課金制限機能等のペアレンタルコントロール機能の利用促進や家庭内ルール作りの促進）及び青少年のインターネットを適切に活用する能力の向上に重点を置いた啓発活動等の取組を集中的に展開するもので、内閣府を始めとする関係省庁より文書が発出されております。

実施期間は令和4年2月～5月となっており、遠野市少年センターでもこの期間に街頭補導活動で配布するグッズに、通知文書に記載されている参考資料のURLを記載する等、啓発活動に取り組みます。

1月街頭補導活動より

20日(木)18:00～市民センター～一日市通り～市役所・とぴあ～遠野駅～駅駐輪場～市民センターを徒歩で巡回。小学生(保護者と一緒)3名、高校生20名に声かけ。この時間帯は部活帰りの高校生が多いが、一般の人通りは少ない。無施錠自転車8台。(遠野1班)

部活帰りの高校生にマスクを配りながら「よかったら使ってね」「気を付けて帰ってね」など声かけしました。

市民センターがある遠野班には専任も参加します。真冬の夜の徒歩巡回にもかかわらず、この日も全員参加!!遠野1班の皆さんありがとうございました。



24日(月)15:00～青笹地区センター～児童館～青笹小学校方面。巡回して間もなく4人の小学生にあった。(1年生3人、3年生1人)マスクを配布しながら「風邪をひかないでね」「車に気を付けて帰ってね」等会話をした。少し経って後方から先ほどの女の子たちの声が聞こえてきた。振り返ると地区センターの隅に集められた雪の上で滑り台として遊んでいた。元気がいいなあ。寒くないのかなあ。児童館の横で出合った女の子は、大きな氷の板を持っていた。「どうするの?」と聞くと「家に持って行くの」との答えが返ってきた。子どもの発想というのはすごい。— 一部抜粋 — (青笹班)

遠野駅前の「あまびえ」イルミネーション。雪景色に映えます。



青笹班は小学校の下校時間と夜の活動がそれぞれあります。毎回巡回コースや感じたことをたくさん書いてくださいます。主任児童委員さんは子どもたちのことをよくご存知でいつもやさしく見守ってくださいます。

21日(金)15:20～ 風は穏やかな今年初めの巡回日、校舎玄関をみても下校の様子なし。児童館に行くと早い下校の3年生までが室内で遊んでいた。その後校舎から生徒がちらほら出てきたのでグッズを渡しながらかけました。そのうちに大人の方が3名出てきたので聞くと、卒業記念の織物の制作指導に来たとのこと。目立たない僅かな人々の協力が存続する地域であってほしい。(綾織班)



綾織班の報告は、いつも当日のお天気や町内の出来事、子ども達の様子など、感じたこと詳しく書いてくださいます。わかりやすくてほっこりします。ありがとうございます。



27日(木)15:00~雪道徒歩で市役所本庁舎~とぴあ~蔵の道広場を巡回した。本庁舎学習スペースで高校生15人が学習していた。一中略~とぴあ内でも高校生15人が親の迎えや列車待ちをしていた。1階では買い物帰りの3年生女子2名が嬉しそうに出てきた。蔵の道広場では同じく3年生男子2名が木登りをして遊んでいた。「気を付けてね」と声かけすると「大丈夫」と声が返ってきた。木の下には積雪が1m以上あるので安全かなと思った。今日は34人にグッズを渡して声かけた。(遠野2班)

とぴあ2階休憩スペースにて。この日は多くの高校生にマスクを配布して声かけしました。



除雪された雪が木の下に集められ、絶好の木登り場所になっていました。「子どもは風の子！」手ぶくろもせず元気いっぱい外遊びする子どもの姿は貴重かもしれません。

小雪がちらつく中の徒歩巡回でした。遠野2班は日頃下校中の小学生に会うことが多いですが、この日は高校生が多かったです。蔵の道広場では木登りをして遊ぶ子どもの楽しそうな笑い声が響いて私たちも元気をもらいました。

24日(月)・31日(月)7:30~朝の見守り活動。通学路を歩いて通う子が歩道もなく、両側に雪が高く積まれている為か左側を歩いていたので右側を歩くように声かけをしました。学校近くの子は冬でも15人くらい歩いて通っているので歩道のない道路脇の雪をなんとかしてほしいと思いました。路面も凍っているのが非常に危険だと思って見えています。先生方が朝、登校時子どもたちが通る道の雪かきをしたり、見守ったりしています。 — 一部抜粋 — (土淵班)

土淵班は、日中と夜間に分かれて活動してくださっています。登下校での見守りは、いつも子どもたちの目線で危険がないか気を配ってくださいます。夜間の巡回は防犯の方々と連携して行っています。



28日(金)7:30~防犯協会(地区センターと合同)朝のあいさつ運動。この日の遠野市の最低気温はマイナス15.8℃の寒い朝でしたが、子どもたちの元気に登校する姿が見られました。(松崎班)



気温の低い晴れた日に見られる「ダイヤモンドダスト」がキラキラと光る朝でした。松崎班のあいさつ運動は、先生方や地域の方と合同で月1回実施しています。下校時の見守りは青パトで実施する事もあり、市内でも児童生徒の多いこの地域で、より多くのこどもたちに声かけができます。

少年センターより



少しずつ日が長くなり春の気配を感じるようになりました。とはいえ、まだまだ朝晩の冷え込みや道路の凍結は緩んでいないようです。1月、2月は街頭補導活動をお休みする班もありますが、徒歩や車での巡回を実施する班は、転倒やスリップ事故に留意し、十分な防寒対策をしたうえで活動してください。

また、これまで以上に新型コロナウイルス感染症対策にご留意いただき、まん延防止等重点措置区域への往来があった方や、少しでも体調が悪いと感じる方や不安がある方は活動をお休みください。班長さんは活動前に皆さんの体調を確認し、密になる場所を避けて巡回していただきますようお願いいたします。

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和4年3月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

遠野市少年委員任期満了 お疲れ様でした!!

令和4年3月31日をもって、遠野市少年委員の任期が満了となります。皆さま方のご協力により、コロナ禍ではありましたが、令和3年度も無事に街頭補導活動を実施することができました。心より感謝申し上げます。

少年委員による街頭補導活動は、青少年の健全育成や非行防止だけでなく、不審者に対する抑止や地域の子どもたちの見守りなど、様々な役割を担うものと考えております。今後とも関係機関・団体と連携し、それぞれの地区にあった活動を続けてまいりたいと思います。

お忙しい中、街頭補導活動に参加して下さった委員の皆さま、どうもありがとうございました。

令和4年度の街頭補導活動については、4月20日(水)に予定しております遠野市少年委員協議会総会終了後の班会議で、班ごとに決定していただきます。

次年度以降も遠野市少年委員として活動いただく皆さま、引き続き遠野市少年センター事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



遠野市少年センター街頭補導活動報告 (令和3年4月～令和4年2月)



回数	午前	午後	夜間	合計
4月	1	5	3	9
5月	2	6	7	15
6月	5	8	9	22
7月	4	5	10	19
8月	2	4	4	10
9月	2	5	3	10
10月	5	10	8	23
11月	7	7	5	19
12月	4	11	5	20
1月	5	4	1	10
2月	4	7	1	12
合計	41	72	56	169



人数	午前	午後	夜間	合計
4月	1	8	9	18
5月	2	13	18	33
6月	5	19	23	47
7月	6	11	28	45
8月	2	4	11	17
9月	3	6	8	17
10月	5	17	24	46
11月	8	15	14	37
12月	5	22	15	42
1月	7	9	5	21
2月	6	11	2	19
合計	50	135	157	342

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年8月12日から9月13日まで、遠野市少年委員による街頭補導活動の一部を休止しました。

腕章の返却にご協力をお願いします!

遠野市少年委員の皆さまへお渡ししております腕章は、3月最終の街頭補導活動が終わり次第、遠野市少年センター又は各地区センターまでご返却くださいますようお願いいたします。

また、次年度以降も引き続き遠野市少年委員をご承引いただける方に関しましては、そのままご使用ください。

ご不明な点等ございましたら、遠野市少年センター (TEL: 62-4413 内線 275) までお問合せください。

2月街頭補導活動より



3日(金)19:00~巡回コース 青笹地区センター発~①成人向け図書類自動販売機~②JR 青笹駅~③セブンイレブン青笹店~④インディ500 遠野店 ~地区センター戻り。

① では入り口付近や裏に家庭ごみと思われるペットボトルや缶等大きな袋に入ったものが3個くらい置いてあった。地元の人ではなく車で通った人が置いて行ったと思われる。ルールを守らない道德の欠如した大人がいることにがっかりした。② 自転車が1台あったが施錠されていた③混んでいたのので客が出るのを待って店長と会話。すると「いつもご苦労様です」という返事。いつも笑顔で接してくれる店長に感謝。グッズを渡し来月も巡回すると告げてきた。④フロントに顔を出したら店長と連絡をとっていただけ「どうぞ店内を自由に巡回していいです」という返事。営業妨害にならない程度でざらっと見回りをした。 ~ 一部抜粋 ~ (青笹班)

18日(金)15:20~16:00 学校前に来たが皆さん下校したみたい。いつものように児童館から元気な声が聞こえてきたので、つられてそちらへ行きました。ほとんどの子どもが外で各々遊んでいた。サッカーする子、雪ほりする子、そり遊びする子、雪合戦する子等々。小学生、本来あるべき姿だと思う。今日は声かけせずに静かに見守った。市内でも感染がでてきた時期なので接近なし。今年の巡回に比べると今年は穏やかな天候でよかったなあ。次回の活動日はさらに春めいた良き日を期待して本日の活動を終了した。 ~ 一部抜粋 ~ (綾織班)

18日(金)16:00~ 北小の下校時間だったので、校門のところでマスクを配布しながら声かけ。「欲しかったからうれしい」と言ってくれた子もいた。新型コロナウイルス感染症の流行で気持ちが落ち着かないとは思いますが、皆元気な様子で頑張っている姿が見られた。

25日(金)7:30~朝のあいさつ運動。だいぶ暖かくなってきて、子どもたちも元気にあいさつしてくれて元気をもらいます。(松崎班)

春 休み中の生活について

3月18日までに市内すべての小中学校で卒業式と修了式が行われ、春休みがはじまります。

この時期は、進級や進学のお祝いで初めて子どもにスマートフォンを持たせるご家庭も多いようです。この時、事前に使い方のルールを決め「ルールを守ることがスマホを持つこと条件」とし、守れなかった場合には一定期間親に預けるなどの取り決めをきちんと子どもに納得させておくことをおすすめします。その際は、親が決めたルールを一方的に押し付けず「あなたを心配しているよ」という気持ちを伝え、困ったことがあった時に相談できる相手がいることを知らせておくことも大切です。

長期休暇中は、気のゆるみから生活も不規則になりがちです。多くの親は「まさか」「我が子は大丈夫」と考え、年頃の子どものスマホ利用にどこまで介入すべきか悩む場面もあると思います。しかし、悪意ある大人や有害なネット情報から子どもたちを守るために、危機感を持って子どものネット利用を把握・管理することが必要です。

また、これからの季節は少しずつ日が長くなり、大人も子どもも外に出る機会が増えてくると思います。これまで通り「ながら見守り」で、子どもたちが春休みを安心・安全に過ごせるようご協力をお願いします。



① 令和3年度 第3回遠野市少年委員協議会役員会

日時：3月16日(水)18:30~

場所：市民センター3階 講義室

※役員の方の皆さんの出席をお願いいたします。

② 令和4年度遠野市少年委員委嘱状交付式及び遠野市少年委員協議会総会

日時：4月20日(水)18:30~

場所：あえりあ遠野交流ホール

※案内通知は後日郵送いたします。